



リーフかさめい

笠縫学区人口（11月30日現在）
男性/5,449人 女性/5,781人
世帯数/4,853世帯

発行：笠縫学区まちづくり協議会 TEL・FAX：077-562-0071
連絡先：笠縫まちづくりセンター Eメール：kasanui@machikyou.jp
website：http://www.machikyou.jp/kasanui/



地域のことは、地域で 住みたいまち・住んで良かったまち笠縫へ

あけましておめでとうございます

令和5年の新しい年を迎えて、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、学区それぞれの繋がりによって、多大なご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、過去3年間新型コロナウイルス感染症拡大により、生活環境は予期しない事態を経験する日々となりました。このような時こそ、お互いに助け合う共助の心で、安心して暮らせるまちづくりを目指して、「地域の事は地域で、住みたいまち、住んで良かったまち笠縫へ」を邁進しております。これも、学区民皆

様のご協力の賜物と感謝しております。

令和4年度は、第1次まちづくり計画も最終年度のまとめの年となり、学区民の声が事業に反映されるよう、令和5年度の第2次まちづくり計画を推進しているところでございます。環境や立場、世代の違う皆様の考えが反映されるよう、そして、新しい時代に向かった計画となれば幸いです。

本年も引き続き、多大なご支援とお力添えを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



笠縫学区まちづくり協議会
会長 永原 光一

あいさつ運動啓発作品 優秀作品発表！



笠縫小学校1年
中尾 圭辰さん



笠縫小学校2年
馬場 菜さん



笠縫小学校2年
中島 啓貴さん



笠縫小学校3年
河地 真吾さん



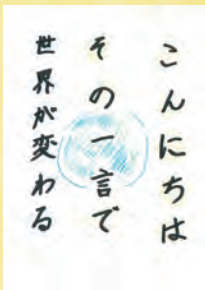
笠縫小学校3年
高谷 優里さん



笠縫小学校4年
園田 紗奈さん



笠縫小学校5年
中村 咲希さん



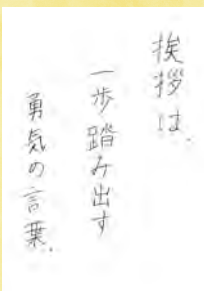
笠縫小学校6年
西田 礼菜さん



笠縫小学校6年
奥村 実花さん



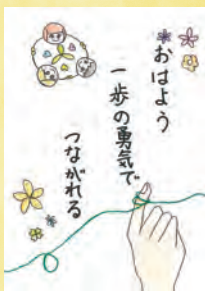
笠縫小学校6年
戸田 沙恵加さん



松原中学校1年
沙加戸 裕子さん



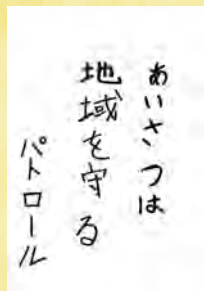
松原中学校1年
三反田 美羽さん



松原中学校1年
平井 美羽音さん



松原中学校1年
三田村 茉朋さん



松原中学校1年
山元 湊貴さん

ふれあい 広場 2022

11月6日(日)

ミニ電車



おもしろ
自転車

スポーツ
テスト

3年ぶりにふれあい広場を開催!

人と人がつながる「体験/楽しむ/集うよろこび」をテーマに、その内容を一新して「笠縫学区ふれあい広場2022」を3年ぶりに開催しました。

絶好の秋晴れのもと、朝早くから多くの方が来場され、松原中学校吹奏楽部のオープニング演奏を皮切りに、初登場のキッチンカーをはじめ、ミニ電車におもしろ自転車、バルーンアートなど、盛りだくさんのコーナーは大賑わいでした。

次回もまた新たな趣向を凝らして皆さんとつながりたいと思います。



健康相談
健康チェック



防災体験



キッチンカー

市長と

11月22日(火)

まちづくりトークを開催

場所：笠縫まちづくりセンター
高齢者の生活支援



高齢者の生活支援をテーマに39名が参加して、橋川渉市長と意見交換を行いました。

初めに、免許返納等でマイカー利用が出来ない方が、通院や買い物などに不便を抱える中、その利便性からタクシー利用に頼りたいが、運転手不足による予約の困難さや遠方通院時の料金問題などを取り上げました。

交通弱者のニーズはさまざまですが、補助金やチケット、タクシー要素も加味した「まめタク」の実証運行など、すぐ使える制度や今後の拡充に向けた取り組みが話題になりました。

次に、災害時や緊急時の不安について取り上げ、現状の災害時要援護者登録制度の周知と支援行動について課題点など確認しました。緊急通報システムについてもその登録手続きやサービス内容について意見交換ができました。

全般的に様々なシーンが想定できるだけに、地域も含めた制度活用の取り組みの充実が話題になりました。

人権講座を開催

11月22日(火)

主催/場所：笠縫まちづくりセンター 共催：笠縫小学校PTA



元松原中学校校長の中谷仁彦先生を講師に迎え「子どもの人権について考える」と題してお話をいただきました。

中谷先生は現在、やまびこ教育相談室で、学校に行きにくい子どもたちの学校復帰や社会的自立を目指して支援活動をされており、児童虐待やご自身が関わってきた不登校のお子さんの事例などについて話されました。

また、保護者の方の多くが興味のあるインターネットとの関わり方についてもお話され、「大切なのは普段からの親子関係」や「子どもの行動にはきちんと意味がある」など、「子育て」で大切なことをお聞きすることができました。

担い手研修

11月19日(土)

第2回

主催：地域福祉部会 場所：笠縫まちづくりセンター

町内会長、福祉委員さんを対象に、2回目の担い手研修を開催、45名の参加を頂きました。今回は、松原地域包括支援センターより講師2名の方で「高齢者をささえるしくみ」の説明、ヒートショックの予防対策、介護予防の基本チェックリストを活用しての説明、みんなで早口ことばを言ったりと、楽しく勉強できたのではと思っています。

皆さんが、いつまでも健やかに住みなれた地域で生活していけるよう松原地域包括支援センターへご相談ください。



第4・5講座

主催/場所
笠縫まちづくりセンター

笠縫やすらぎ学級を開催



第4講座 10月13日(木) 防災講座

明治安田生命保険相互会社の朝倉さんを講師に迎え、「いまから、取り組もう!防災講座」をテーマに、在宅避難等について学びました。災害後も自宅で過ごす在宅避難は、状況次第で困難な時もあり、複数の避難先を家庭内で共有することが大切との事でした。また、在宅避難が可能な条件や、在宅避難に役立つグッズの基礎知識をクイズ方式で分かり易く学びました。

第5講座 11月10日(木) ライブ&トーク

中谷仁彦さん(元松原中学校長)を講師に迎え、「ライブ&トーク」を開催しました。中谷さんは、教育現場での豊富な経験を生かし、現在、不登校の子どもたちと関わる仕事をされています。子どもの支援は、その家庭(保護者)を支援することから始まるとの事。そして、地域で大人が手助けし、子どもを見守ることは、家庭支援にもなり、地域の役割は大切だと話されました。講話後、子どもの気持ちを歌詞にした曲などを、ギターの弾き語りにより披露され、その歌声は心に深く響きました。



参加者の声

- 『地域で、子どもたちにどんどん声掛けしてください』と話され、先ずは「あいさつ」から始めようと思った。
- 我々、高齢者でも地域でまだ役に立つことがあると感じた。

11月21日(月)

笠縫小学校 たんぽぽ学級交流会

笠縫学区民生委員児童委員協議会 笠縫学区まちづくり協議会 共催

両協議会のオッチャン、オバチャンメンバーと児童たちが一緒になって、なかよしボードの製作と、ミニシアターの鑑賞交流を行いました。



なかよしボードは、桜の木の輪切りに自分の顔を描いて、その後クラス全員分と協議会メンバー分をボードに貼り付けました。クラスごとの表札みたいなボードに仕上がりました。



ミニシアターはおなじみの「さるかに話」ですが、協議会メンバー手作りのキャラクターが新鮮で、児童たちも登場人物の気分で鑑賞できたようで、頑張れーの笑顔に会が盛り上がりました。

11月12日(土)

松原中学校 地域課題解決学習

スクールESDくさつ推進事業

スクールESDくさつ推進事業のモデル校指定を受け、美味しい草津の農産物「ベジクサ」をテーマにした地域課題解決学習に取り組んでいます。

今回「ベジクサ」と総称される野菜・果物を多く栽培されている地元農家で、取り組み協力者の中島春樹さんの指導のもと、10月末に改選された生徒会の初取り組みとして「愛彩菜」の収穫を体験しました。一株一株慎重に収穫し、「鍋料理がおいしいよ」「お好み焼きに入れるといいかも」等と食需要も広がりそうでした。予定外の、種まき体験も行い、栽培家さんと交流が広がりました。地域課題へ生徒達が、体験的・主体的にかかわり地域社会の一員としての意識と行動力を身に付けることを目指していきます。今後もご協力をお願いします。

(松原中学校地域コーディネーター：杉江由紀子)

北山田町
ビニールハウス群



10月27日(木)

笠縫小学校 4年生 オンライン環境学習

オーストラリアと結んで

4年生の皆さんがオーストラリア在住の青年海外協力隊の方とオンラインで繋がり環境学習をしました。各学級の電子黒板に海外の環境の様子が映し出され、日本との違いに気付いたり、ポイ捨ての缶やプラスチックが土に戻るまでに何百年もかかることを学んだりしました。「なぜ、環境活動に取り組んでいるのですか?」の質問に「環境について考えて欲しいと思ったからです」と思いを聞いて学びを深めていました。離れていても息吹を感じる学習に大きく手を振りお礼を言いました。

(笠縫小学校地域コーディネーター：小寺厚子)



11月26日(土)

おでかけ「ふれ愛」模擬体験を実施

主催／笠縫学区地域医療と福祉を考える会議
場所／下笠会館とその周辺

65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍と言われる現在、認知症で道に迷っている方を発見してから本人宅へ送り届けるまでの模擬体験を行いました。今年度が3回目の開催で、地域住民・介護施設職員、民生委員、草津市など56名が参加しました。



最初に、認知症に関する基本的なこと、接し方、声のかけ方を学んだ後、認知症の高齢者役・声掛け役・記録役を決めて、4班に分かれての挑戦です。

高齢者は、声を掛けてもらうと安心されるようで、少し勇気を出して声掛けをする、話す視線は同じか下にする、声を掛け続けるなどのアドバイスがありました。

知らない地域で知らない人に遭遇した時の対応についての質問では、交番や地域包括支援センターなどに助けを求めるようにとの回答をいただきました。

今回の声掛け役の皆さんは、一様に丁寧な優しい声掛けをされ、相手のペースを気遣いながら行動されていたとの講評がありました。

まちづくりセンターの自主教室紹介

よし笛(笠縫ハーモニーズ)を訪問しました。



Q.よし笛とは？

琵琶湖岸に生育している「よし」を利用した笛は昔からあったようですが、楽器として安定して使用できるように1998年に改良考案された比較的新しいものです。

Q.どのような活動？

演奏する楽しみをメンバーと共有できるように基礎的な練習やアンサンブル演奏などを行っています。伴奏CDもあるので一人練習も可能です。音は簡単に出来ますので、興味のある方は、センターまでお問い合わせください。

Q.披露の場は？

おかげさまで高齢者サロンなどから声が掛かり、一緒に歌ってもらえるような曲を披露しています。



10月22日(土)

防犯研修会を開催

主催：地域安全部会 場所：笠縫まちづくりセンター

野村交番の木村仁所長を講師として、「地域の安全と防犯」をテーマに33名の参加で開催しました。増加する3項目を重点に、防止策として、①特殊詐欺(オレオレ詐欺等)：電話は必ず留守電にする ②交通事故：特に夕暮れや夜間時は、歩行者・自転車・自動車みな気が付ける ③自転車盗：必ず施錠する また、子どもの安全を守るためパトロール等にも注力され、最後に、地域の絆が深いほど犯罪は防げ、安心安全なまちづくりにつながると結ばれました。



10月11日(火)

防犯街頭啓発を実施

主催：地域安全部会
場所：ハッピー六原前

啓発グッズを配布しながら7名の参加で、空き巣やひったくり等の注意を呼びかけました。



「ふるさと笠縫の記憶絵ガイド・マニュアル(笠縫学区まちづくり協議会発行)より抜粋」

それがため、この地を領し笠堂を建立したと言われる近江の豪族、笠氏が寺院や住民の安全を願って、当時社会秩序の安定に威力を発揮し公の制札を掲げたようである。



然しこうした地政的に有利な地は反面南北朝時代や室町期の戦乱となり易く、したがって軍馬の乱入・物資の略奪などに苦しめられることも多かった。

この地は、今から凡そ1300年の昔、白鳳寺院として有名な下笠、笠堂の近くにあって、その寺の保護を受けていたと考えられるが、それに、この地域が進んだ農耕地として開発され、然も守山・瀬田・北山田・矢橋などの交通の要所でもあった。

由来

草津市内では、旧草津川トンネル入り口に高札場が復元されており、ご存じの方も多いようですが、下笠地区の「あしうら道」も東海道・中山道に匹敵する幹線道路であり、その要衝である井ノ元に高札場が設置され、平成6年に井ノ元自治会により、その高札場が復元されました。

笠縫紀行 第九回 井ノ本高札場

Let's 笠縫! Motto 笠縫!

笠縫ツナガリ隊

サツマイモ収穫祭!

主催：笠縫ツナガリ隊
 場所：笠っ子アドベンチャーパーク(KAP)〈下笠町〉

10月21日(金)

地域協働合校として5月に苗植えをしたサツマイモを笠縫小学校2年生と収穫しました。

秋晴れの好天にも恵まれ、子どもたちは土の中に隠れているサツマイモをどんどん見つけて、「ここにもあった!」「大きいサツマイモとれた!」「まだ帰りたくない!もっと掘りたい!」と笑顔満点で収穫してくれて、とても楽しい時間を一緒に過ごせました。



地域の方とも一緒にサツマイモを収穫しました。ツル切りやマルチがはがしといった事前準備も体験していただき、サツマイモ収穫を初めて体験するご家族やお子様も多く、大きなサツマイモが掘れた時は大歓声があがり、皆さん素敵な笑顔でした!

10月23日(日)



あいさつ運動 啓発作品表彰式

12月6日(火)

主催：子ども育成部会
 場所：笠縫まちづくりセンター



受賞おめでとう!

あいさつ啓発作品の表彰式を笠縫まちづくりセンターで行いました。

この作品は、草津市青少年育成市民会議から募集があり、当学区の応募者の中から当協議会が独自に選出したものです。

笠縫小学校から10名、松原中学校から5名の優秀作品を選出し、まちづくり協議会の松村副会長より賞状および副賞を授与しました。

当日は登校日のため、お昼休みを利用して小学校の受賞者全員にまちづくりセンターに来てもらいました。保護者の出席も多く、大変有意義な表彰式となりました。また、松原中学校の受賞者には後日お届けしました。

子どもたちの応募作品の選考では、子どもたちの表現・発想の豊かさや、作品に込めた想いにふれ、とても頼もしく感じました。これからも、「あいさつ」を大切にしてほしいと思います。



10月31日(月)

笠縫学区 まちづくり協議会 第2四半期 会計監査を実施

令和4年度第2四半期の会計監査が実施され、小森会計・事務局会計担当者出席のもと、監事2名による監査の結果、適正に処理されていることが確認されました。

笠縫小学校 3年生と グラウンドゴルフ交流会を開催

11月24日(木)

主催：地域福祉部会
 場所：笠縫小学校運動場

笠縫小学校3年生の児童約130名と地域の高齢者がグラウンドゴルフで交流しました。

最初は緊張していた児童たちも数回打ただけで上達し、のびのびと楽しんでいる様子でした。クラブの使い方や打ち方の指導で協力いただいた老人クラブ連合会の方たちも生き活きと参加されていました。



「サンヤレ踊り」ユネスコ無形文化遺産に登録へ！

下笠のサンヤレ踊りを含む「近江湖南のサンヤレ踊り」が、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の「風流踊」無形文化遺産への登録が決まり、昨年12月1日に小津神社（守山市）で記念セレモニーが行われました。風流踊は、歌や笛・太鼓などの囃子に合わせて踊り、災厄を払い世の中が穏やかで平和な暮らせるよう願っています。中でも、下笠のサンヤレ踊りは衣装が華やかで見ごたえがあります。毎年ほとんどの役者が交代し、2月下旬から30回程度練習を重ね、5月3日の老杉神社の例大祭等に奉納します。この度の吉報を受けて、下笠町参弥礼踊り保存会（会長・山元吉夫さん）は、「保存継承に向けて一層の励みになり、もっと支援者の裾野を広げたいと思っています」と語られました。



参加者募集！

手作りバレンタイン講座 ～簡単！シンプル材料！時短！でできる～

主催 / 笠縫まちづくりセンター

日時 / 2月9日(木) 9:30～12:00

場所 / 笠縫まちづくりセンター 調理室

【講師】中瀬仁子さん(笠縫学区在住)

- 参加対象：草津市内在住・在勤の方
- 参加定員：12名(定員を超える場合は抽選とし、結果を通知します)
- 内 容：ガトーショコラを一人1ホール作ります。作ったケーキは持帰りになります。
- 参加費：500円
- 申込期限：1月31日(火)
- 持ち物：エプロン・三角巾・マスク・飲み物・持帰り用袋



シェイプアップ体操 ～心も身体もリフレッシュ！～

第4回
9月28日(水)
最終回
10月12日(水)

主催/場所：笠縫まちづくりセンター

健康運動指導士の中原今日子先生をお迎えした人気の連続5回講座も終盤です。

寒くなってくるこの季節、お風呂上りにストレッチを行うとより効果がアップとの事。ウォーキングの姿勢や基本動作を繰り返しレッスンし、「簡単なので自宅でも続けて運動したい」との参加者の声もあり、健康維持の意識も高まった様子でした。



スマートフォン体験講座 スマホ初心者の方に最適な基礎から学べる講座です！

主催 / 笠縫まちづくりセンター

日時 / 2月21日(火) 13:30～15:30

場所 / 笠縫まちづくりセンター 大会議室

【講師】ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー

- 参加対象：草津市内在住・在勤で、「これからスマホを使ってみようかな」「スマホに興味はあるけれどちょっと試しに操作してみたい」という方
- 参加定員：20名(定員を超える場合は抽選とし、その場合はスマホをお持ちでない方を優先します。抽選結果は応募者全員に通知します)
- 内 容：スマホの持ち方・画面操作・スマホの基本操作等
- 申込期限：2月6日(月)
- 持ち物：マスク・筆記具
- その他：当日は貸出し用のスマホを使用しますので、スマホをお持ちでない方も手軽に参加できます。また、現在ご利用中の方も携帯電話会社を問わず参加できます。ただし、お持ちのスマホは使用しませんのでご注意ください。

参加費
無料！



手作りコサージュ講座 (シルクフラワー)

主催 / 笠縫まちづくりセンター

日時 / 2月25日(土) 13:00～14:30

場所 / 笠縫まちづくりセンター 大会議室

【講師】伴 由美子さん(笠縫学区在住)

- 参加対象：草津市内在住・在勤の方
- 参加定員：10名(定員を超える場合は抽選とし、結果を通知します)
- 内 容：卒業、入園、結婚式などのフォーマルなシーンやカジュアルな装いにもワンポイントになるプチコサージュ。シルクフラワー(造花)を使用します。
- 参加費：1,000円
- 申込期限：2月10日(金)
- 持ち物：マスク・持帰り用マイバッグ *お持ちであればニッパー・グルーガン(なくても可)

*少しの時間で簡単にできます。
ギフトにもなるオリジナルのコサージュと一緒に作りましょう。



参加申込・お問合せ

笠縫学区まちづくり協議会事務局
(笠縫まちづくりセンター内)

電話 / 077-562-0071

※新型コロナウイルスの感染状況により予定を変更・中止する場合があります。
※発熱や風邪の症状がある場合や身近にコロナ感染が疑われる方がいる場合は参加できません。
※参加者名簿を公的機関に提供する場合があります。

編集後記

新年を迎え、皆様方には初詣に行かれましたか。私は氏神様に行ってきました。子どもの頃、親から「初詣に行ったら家に帰るまで誰とも会話をしてはいけない。」と、よく言われましたが、最近は誰もこんなことを言わなくなりました。夜中だと暗いので誰かわからないけど、昼間は声を掛けられ返事しそうですね。(N.T)